

令和6年第1回恵那市健康づくり推進協議会 会議録

○開催日時：令和6年6月12日（水） 午後1時30分～3時

○開催場所：会議棟中会議室

○出席委員：藤岡幹久委員、山本さちよ委員、近藤美樹子委員、高木應俊委員、伊藤桂子委員、  
吉田健市委員、小林英文委員、三宅祥市委員、加藤幸利委員、伊藤常光委員

○欠席委員：山田康志委員、樋田安美委員

○事務局：医療福祉部長 鷹見健司  
健幸推進課長 林幸徳  
スポーツ課長 後藤治己  
スポーツ課 スポーツ振興担当係長 足立大輔  
健幸推進課 課長補佐兼健康増進係長 高垣亜也  
健幸推進課 母子保健係長 今井典子  
健幸推進課 健幸企画係長 安江寛子  
健幸推進課 健幸企画係総括主査 足立美津代

(株) ジャパンインターナショナル総合研究所 植村優子

内容： 開会

1. あいさつ
2. 第4回会議録の承認について
3. 議事
  - (1) 恵那市いきいきヘルシープラン3について
  - (2) 健康づくりに関する市民アンケート調査結果について
  - (3) 第2期恵那市健幸のまちづくり基本計画について
4. その他

閉会

開会

事務局（林）	ただいまより、令和6年度第1回恵那市健康づくり推進協議会を開会します。 本日、司会を務めさせていただき健幸推進課長の林です。 本協議会は、設置規定第1条にあるように、市民の健康づくりに対する意識の高揚を図るため、関係機関、団体等が相互に緊密な連携を保ち、総合的、かつ、効果的な健康づくり対策を樹立し、これを推進することを目的としています。また、第2条第1号にあるように、健康づくりを推進するための基本的事項及び総合調整に関する事項の審議並びに計画の策定、第2号にあるように、計画の進行管理及び計画の見直しについて提言いただくために設置する協議会となります。 また、本協議会は恵那市附属機関等会議の公開に関する要綱に基づき会議は公開となり、傍聴席が設けてあります。 次に、本来は市長より委嘱するところではありますが、あらかじめ机上に配布をもって委嘱書の交付とさせていただきます。委員の任期は本年度より2年間で
--------	---

	す。 次に、本協議会の会長、副会長について、第4条の規定はありますが慣例により臨番制で、会長には恵那市歯科医師会の藤岡幹久様、副会長には食生活改善連絡協議会の山本さちよ様をお願いしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
事務局（林）	それでは、健康づくり推進協議会の会長を藤岡幹久様、副会長を山本さちよ様 にお願いします。 次に、本日は本年度最初の会議でありますので名簿順に自己紹介をお願いします。
委員・事務局	自己紹介
事務局（林）	本日、恵那薬剤師会の山田委員より欠席の連絡をいただいております。 では次第に沿って進めます。 副市長の大塩康彦よりごあいさつ申し上げます。

## 1 あいさつ

副市長	恵那市副市長の大塩です。本日は市長の代理でごあいさつさせていただきます。 6月2日の健幸フェスタでは皆さまにご尽力いただき感謝申し上げます。おかげで5,000人という来場者があり、健康について関心を持っていただけた。 平成27年に「恵那市健幸都市宣言」をして、計画として健康寿命を延ばそうと高い目標を掲げた。当時、日本でいちばんプラスであった静岡の藤枝市に真似ようということで健幸都市宣言をしてきたが、10年が経ち、当初の思い、藤枝市を勉強してきた思いがなかなかDNAとして繋がってこなかったのかもしれない。ここでまた一度振り返って、藤枝市は相変わらず日本でもトップクラスであるのでまたそこを真似ながら、健幸都市宣言の名に恥じない恵那市を作っていきたいと思っている。 「圏域別の健康課題と食生活の特徴」を見ると、東濃圏域には高血圧、糖尿病、脂質異常とある。寒いところは我々と同じ環境かと思ったが、飛騨では高齢者のやせであった。パンフレットを配布させていただくのでご覧いただきたい。 皆さまから健幸のまちづくり計画のために、自由闊達なご意見をいただけるようお願い申し上げます。
事務局（林）	続いて、健康づくり推進協議会藤岡会長よりごあいさついただきます。
藤岡会長	2年間会長の職務を勤めさせていただき藤岡です。この協議会は市民の健康づくりの意識を高めるために、医療機関と団体とが連携して、より効果的な対策を進めることを目的としています。皆さまの協力を基に会議を進めていきたいのでよろしくお願い申し上げます。
事務局（林）	副市長はここで退席させていただきます。 それでは次第2、第4回会議録の承認に移ります。

## 2 第4回会議録の承認について

事務局（林）	事前に送付した令和5年度第4回会議録について、訂正事項等あればお申し出 いただきたい。なければ、この第4回議事録を恵那市WEBサイトで公開しま す。 本日の資料確認をします。事前送付した「第1回恵那市健康づくり推進協議会 次第」、「資料1」「資料2」「資料3」「資料4」。その他に本日配布した 「いきいきヘルシープランの概要版」「スケジュール表」「協議会の設置規 定」です。
--------	---

	<p>それでは、次第3、議事に入ります。</p> <p>ご審議いただきたい議事は「資料3」の計画案についてですが、計画案をご審議いただくためにまず「資料1」「資料2」について説明を聞いていただき、それを踏まえて計画案についてご意見をいただきたいと思ひます。</p> <p>「資料1」の恵那市いきいきヘルシープラン3は、皆さまのご協力のもと昨年度計画で策定ができたもので、本日は概要版にて説明させていただきます。</p> <p>「資料2」は健康づくりに関する市民アンケート調査結果概要です。</p> <p>ご審議いただきたい「第2期恵那市健幸のまちづくり基本計画」については、基本計画の骨子案をご説明した後、皆様からのご意見をいただきたいと思ひます。</p> <p>ここからの議事進行につきましては規定により藤岡会長にお願いしります。</p>
藤岡会長	それでは次第3（1）恵那市いきいきヘルシープラン3に移ります。

### 3 議事

#### （1）恵那市いきいきヘルシープラン3について

事務局(高垣)	恵那市いきいきヘルシープラン3について、資料1に基づき説明
藤岡会長	ただいま事務局より説明があつたが、ご質問等はあるか。
高木委員	健康格差とは、どういう意味か。
事務局(高垣)	<p>この計画の中で健康格差として目標にあげたのが、恵那市は健康寿命が県平均と比較して低い。地域によって高低差もあり、恵那市の健康寿命ともわずかな違いだがそれが格差として見る指標になる。</p> <p>色々な考え方があつるが、ここで言う健康格差は平均寿命で格差を数値として表している。収入によって病院を受診できる人とできない人がいるのも健康格差のひとつとして挙げられているし、お金があればいろいろな食品が食べられるがそうでなければ限られた食品しか取れないこともそうである。</p> <p>このいきいきヘルシープランで見る健康格差として健康寿命の差を挙げているが、例えば県平均より平均寿命が上がれば、県平均より恵那市は健康寿命が長いと見ることができると、それを個々の指標で健康格差として示している。</p>
高木委員	健康格差とは、個々の健康状態に差があるということをは言っているのか。恵那市全体の健康状態が他市と比べて悪いのでそれを改善しようとしている意味なのか。
事務局(高垣)	健康寿命は恵那市全体で見っていく。どのような傾向があるかは市では国保のデータでしか判断ができませんが、その数値を活用している。
高木委員	基本目標として挙げるのは非常にわかりにくいと思ふ。健康寿命の延伸、みんなの寿命が伸びるよりも健康で長生きできることがやはり理想であると思ふし、延伸は非常に良いのだが、目標が健康格差で、比べて劣っているからそれをなおそうというのは、目標として掲げるにはどうなのかと思ふ。国などでそのような指標があつるのか。
事務局(高垣)	大元である健康日本21の目標が、同じ形で示されている。
高木委員	ライフコースアプローチとあつるが、どのような意味か。
事務局(高垣)	子どもの健康、就労している人の健康、家事育児をしている方の健康、高齢者の健康、それぞれライフステージがあり、それぞれのステージに応じて取り組んでいくことである。
高木委員	これは一般市民の人も見るのか。
事務局(高垣)	そうです。計画と概要版についてはホームページで出していく。
高木委員	であれば、注釈で説明を書いてあげたほうがいい。
藤岡会長	それでは次第3（2）市民アンケート調査結果、（3）健幸のまちづくり基本

	計画に移る。
--	--------

(2) 健康づくりに関する市民アンケート調査結果について

(3) 第2期恵那市健幸のまちづくり基本計画について

事務局	健康づくりに関する市民アンケート調査結果について、資料1に基づき説明 健幸のまちづくり基本計画について、資料2に基づき説明
藤岡会長	ただいまの事務局説明へのご質問や、アンケート結果を踏まえて、健幸のまち づくり基本計画について、目指す姿や施策など内容のご意見はあるか。
加藤委員	昨年度ヘルシープラン3の策定に関わっていて様々な議論があったが、その時 には細かく出ていなかったアンケート結果が本日は出ている。抽出した2,000 名のアンケート結果とヘルシープラン3との整合性が、事前にもらった資料を 見るとよくわからない。アンケート結果を踏まえてプランをどう見ているか、 事務局の方の意見を聞きたい。
事務局	今回実施したアンケートはヘルシープラン3の計画策定のためではなく、健幸 のまちづくり計画を具体的に考えるための資料として実施したアンケートであ るので、ヘルシープラン3との整合性はない。
事務局	「いきいきヘルシープラン3」で課題や取り組みの方向性を出し、「健幸のま ちづくり計画」で何をどうやっていくかを具体的に作る。 ヘルシープラン3にある項目に対する質問なども今回のアンケートで取ってい るのでそれらも参考にして、ヘルシープラン3で出た課題に対してどういう取 り組みをするのが具体的に効果のある取り組みに繋がるのか、アンケートを基 に考えていくような位置付けとしている。
加藤委員	ヘルシープラン3における課題が見えてきているが、それがどのようなアンケ ート結果に出ているのか。それをふまえた行動計画をつくっていくというこ と。
事務局	そうである。例えば運動習慣、ヘルシープラン3で出している数字は、特定健 診の間診票を活用して運動している、していないを数値として集計している。 アンケートではいろいろな年代の人に同じ内容を聞いて年代のデータが取れる ので、それを踏まえて次の行動計画の参考にする。 同じ運動習慣の取り組みは、ヘルシープラン3でも健幸のまちづくり計画でも 上がっているが、ヘルシープラン3で運動習慣者が少ないので上げていかなけ ればという目標を掲げている。 例えば小中学校の外の運動量が減っていることに具体的にどう取り組みしてい くかを考える時に、この年代の子たちが運動していないというさらに詳しい情 報を得て、年代を区切ってアンケートを取っているので年齢層の集計などを参 考にしながら具体的にどういった働きかけをしていくのがいいのかを考えてい く材料にする。また、評価の時にも同じアンケートを取ることで、この数値が どう変化していくかを見ることができる。
加藤委員	ヘルシープラン3でいろいろな課題を出してきたが、それは実績として健康診 断結果や子どもの家庭からの調査結果がデータとして出ている。それと細かく 年代別に取ったアンケート結果に違いはないのか。それに対して、どのような 行動計画をとっていくか。課題とアンケート結果の比較評価は必要ないのか。
事務局	もちろんその視点でヘルシープラン3としてもう完成しているが、計画として どうかを見ていく必要があるので、今回のアンケートで集計した数値も合わせ て、必要であれば修正を加えながら、今後も計画を進めていかなければと思っ ている。今回策定したヘルシープラン3の指標と合わせて見ていただきたい。
伊藤常光委員	細かく取ったアンケートの集計は大変だったと思うが、男女別ではどうだった のか。健康寿命は男女で違うだろうし、タバコの関係などもだいぶ違うような

	気がする。地域との関わり合いについても、女性と男性ではだいぶ格差があると思われるが、その点はもう分けないのか。
事務局 (ジャパン総研)	言われた通り、男女別や男女年齢別も今回の報告書には入っていないが、集計させていただいてはいるので、今後策定にあたってそれらの情報も適宜検討しながら進めていく。他市町でもそのようにしていることが多い。
伊藤常光委員	男女の格差があるところについては、男女別が分かるのならば記載していただくとより理解できるのではないかな。
小林委員	健康寿命の話が出たが、恵那市壮健クラブでは岐阜県と比較したものがあるが、恵那市 13 町ではどうか。全国、岐阜県に比べてどうか。 大きなスーパーがある町内と、ない田舎ではやはり何らかの健康の格差が出てくるような気がする。以前、そのデータが恵那市にあると高齢福祉課で聞いたことがある。壮健クラブでも各町で体力測定をやっている。どうやって健康に繋げるかを壮健クラブでは考えているので、それを活用したいと思っている。
三宅委員	歩きたいと思うが実際には歩けていないのは 20 代から 50 代の比率が多いというデータが出ている。ドアツードアも車でという今の世の中、例えば成人が 1 キロ歩くと大体何歩ぐらいになるといった歩数の目安を記していただけると、あそこまで行くと何歩になるのかという歩く目標になるのではないかなと思うし、周知していただけるとありがたい。
吉田委員	私は地域自治区、振興協議会から代表で参加している。私は笠置町であるが非常に高齢化が進んでおり、独居老人などが非常に多い。私も最近まで民生委員を長いことやっていたので独居老人の方々と対応の期間が大変長く、心配していた立場だったが、気が付いたら自分も後期高齢者になっていた。特に健康寿命のことは最近の話題で、自分でも真剣に考えている状態なので非常に参考になる数字が並んでいる。恵那市として、他の地区よりも数字的にすこし劣るといことで今頑張っておられるのだと思う。 これを一発で解決するような策はないと思う。すぐに改善するとかいう問題ではなく、順番にひとつずつクリアしていかなければいけない。大変なことやっただけで数字的にわかりやすくしていただいたのもひとつの成果ではないか、大変なことをやっただけだと思っている。 私は壮健クラブもやっていたので良くわかるが、例えば私が町へ戻って、これらを町民に周知するのはなかなか大変だと思うが、横文字ではなく非常にわかりやすい言葉で報告しながら流していくことを大切な役目だなと感じている。真剣に取り組まなきゃいけない、一生懸命やってらっしゃる方々に敬意を表したい。
伊藤桂子委員	健康を気遣う位置にいる人として意見を申し上げる。まず、資料 3 の 28 ページの目指す姿、「健康寿命日本一を目指した健幸のまちづくり」はとても素敵で良い目標だと思った。日本一という言葉で、志高く頑張るぞという気持ちがよくわかるが、重点目標を見てみるとその割にはごく一般的な目標になってしまっている。高血圧、高血糖、脱肥満、これはアンケートの結果からそのまま言葉にしているのだと思うが、具体的目標にこの後にされるのであればそちらを打ち出してもいいのではないかな。 例えば高血圧を改善するには塩分なのだと思うが、アンケートで取られた「漬物」と「汁物」の二つの結果だけで果たして塩分が多いと言い切れるのか。具体目標があるとするなら、そのためにはどうすればいいかという素材となる材料はどこからか持ってこなければいけないのではと思った。 高血糖についても同じで、原因はあるのだと思うが、私が想像したのは運動不足かと思った。その材料となるアンケート結果はどこにあたり、原因は何とおっしゃられるのか伺いたい。

事務局	<p>今ご指摘いただいたことは、実はこの後に予定している検討委員会で議論をしていく内容であります。</p> <p>まず、重点目標がシンプルだということについては、まずこの3つが恵那市の健康状況であり、特に高血圧や糖尿病の方が多かったり肥満の傾向があるという状況があるので、まずはここを良くして健康寿命を伸ばしていくというゴールにたどりつきたいという気持ちがあり、わかりやすく目標を出してある。</p> <p>そして、どういったことができるのか、いろいろな計画がある中にこの健幸のまちづくり計画があり、特に取り組んでいくところとしてこの施策を打ち出している。さらに踏み込み、では何をしていくのかについて先ほど申し上げた検討委員会で話を進めていく。この検討委員会は、例えばこの減塩対策については、栄養士が専任職員としてつき、関係する団体などから8名程度のグループで具体的にもっと話を掘り下げ、行動計画にまとめていく予定である。</p> <p>まずはこの協議会でこの基本計画をご説明し、検討委員会でもっと具体的なものを作り上げ、また次の推進協議会で出来上がった行動計画についてご意見やアドバイスをいただいたりする予定で進めたいと考えている。</p>
高木委員	<p>これは前の健幸のまちづくり計画策定検討委員会の時に聞いたことだが、恵那市は糖尿病、高血圧の人が多く、それは特定健診から持ってきたデータだということであった。特定健診とは、基本病院に行っていない人の健康状態を調べようというのが本来だが、今は健診率を上げましようとなっていて、私の病院に糖尿病で通院している人もみんな受診する。元々病気の人が検診を受けるので、データとして高くなるのは当たり前である。</p> <p>市としての取り組みはどこに向かうのかという話であるが、健康な人に対してもっと健康寿命を長くしましようというのか、それとも病気の人に対してもっとしっかり治療しましようということなのか。</p> <p>そもそもの話になってしまうので難しいのだが、血圧が高い、糖尿病が多いというのは本当なのかと感ずることがある。数値を見てもヘモグロビンA1cが6.5以上の方が11パーセント、恵那市の10人に1人が糖尿病なのかという私は違うと思うし、全然そんなにいないと思う。やはり、検診を受ける方にそういったバイアスがかかってたくさん来るのでデータとして上がっている話だと思うので、そのデータを基にいろいろな施策をしていくと、果たしてそれで向いている方向が正しいのか、どうやって確かめるのかは非常に難しいと思う。</p> <p>それから、やはり健康寿命をいかに伸ばすか。これはもう本当に大事なことで、健康寿命が短くなる一番の原因は何かというとは実は運動器疾患である。腰が痛い、膝が痛い、大腿骨骨折をする、腰椎の圧迫骨折などで動けなくなって要介護になってというパターンが増えてきている。統計的に見て、脳卒中等と比べても、運動器疾患を足すと実はそれが一番になっていて、それによって要介護になって健康寿命が短くなる。そして、それを予防するには何が大事かという、もう皆さんも言われているように運動である。健康寿命の話は高齢者の話であり、健康寿命を伸ばそうと思ったらいかに高齢者に運動をしていただけるか、しかも間違いのない効率的な運動をしていただけるかという話になるので、そこをもう少し市からわかりやすく施策として出されるといいのかなと思う。</p> <p>若い人にもやはり運動をしてもらった方がよい。それこそ糖尿病、高血圧、これらも運動によって数値が下がることは科学的にもわかっている、もっと言えばがんに対しても運動すると、あるがんは下がるという根拠がある話がある。運動して悪いことはひとつもないが、ただ間違った運動をすると余計悪くなるので、正しい運動を市からどうやって市民に対してアピールするのは必要だと思う。</p>

	<p>私は体育連盟の代表でもあるが、やはり運動が大事だということ、先ほどお話をあったように、こういう運動をしたらこんなにいいことがある、ということをもっとわかりやすく出したほうが良いと思う。</p> <p>健康日本 21 で「1メッツ」がどのぐらいの運動量かというデータ、指標がある。1メッツ、2メッツの運動をするとこれだけ数値が良くなるというデータが今は出ていると思うので、それをもっともっとわかりやすく出していただくと良い。恵那駅からこれだけ歩いたら何メッツだと指標を出すとか、例えば市役所の方が率先して家から歩いてくるとか、そういうわかりやすい簡単なことから始めていって、もっともっと運動や健康に興味を持っていただくとしたほうが、難しいデータをたくさん出すよりはわかりやすいのかなと思う。</p>
事務局	<p>当然、私どもの方でも施策として考えているものもあるが、委員の皆さまやこの後の実行部会のご意見もいただきながら、運動施策をどうやって進めていくかの参考にさせていただきたいと思う。特にスポーツ課としても痛感している部分である。</p>
近藤委員	<p>6月初めに健幸フェスタに参加させていただいた。5,000人の参加者があったと伺ったが、その場にアンケートが設置してあるということだった。参加された市民の、具体的な声を聞く良い機会だと思うので、是非そういう声を拾っていただくとありがたいと思う。</p> <p>市民アンケート調査の回収状況が 43.9 パーセントとあるが、毎年大体このぐらいの回収率なのか。今回が初めてのアンケートであったか。また、毎年実施されるのか。</p>
事務局	<p>今回が初めての実施で、計画のためのアンケートのため、策定するタイミングで実施することになる。</p>
近藤委員	<p>大変細かいアンケートで、集計するのは大変であったかと思う。これを具体的にどう活かしていくかが課題になってくると思うので、また教えていただきたい。</p>
山本副会長	<p>私は食生活改善連絡協議会という、「食改（しょっかい）さん」という、食べることでの対策、糖尿病予防食や高血圧予防食、といった啓発活動を行っている。</p> <p>健幸フェスタでも適度な運動も大事だと、健康都市宣言の年につくられた「エーナ健幸体操」を 10 年後の開会式におこなった。体育連盟とかスポーツ課からも、適度な運動と食べることをセットにして何か市民にできればと思っている。</p> <p>アンケートは汁物とか漬物とか、塩分、減塩に対しての質問であったと思うが、実は毎月 19 日に「えなえーる」で私たちは啓発活動を行っている。何年やっているか、コロナの時もやっていたが、そのアンケートの結果も出して皆さんに知らせてもいいかと思った。</p> <p>「朝食を食べましたか、プラスしてタンパク質を食べましょう」という啓発をしている。朝ごはんを食べてきたかと聞くと、高齢者はモーニングと昼と一緒にだと言って意外と朝食を食べていない。二人暮らしとか独居の方は特に、10時にこれからモーニングに行って昼食だと返事をされる方が多い。今日はどこのモーニングに行ったとか、どこは良かったとか、食べないよりは食べた方が良く、それもフレイル予防にもなるし出かけることも良いのだが。毎月 19日にアンケートを取っているの、よければ一度覗いてみていただきたい。</p>
藤岡会長	<p>健康寿命が県の平均より少し下がっているということで、先ほどから皆さま言われているように今どうこうではなく、例えば 70 代だったら健康寿命が 80 前後、それより若い人たちに話をして、何年後かに結果が出てくるようにならないかと思っている。現状では県平均より少ないということ、今日皆さん</p>

	<p>と意見を交わして、何年間でまたこの協議会で平均より上回っていると数字が上がってくれば、皆さんの意見の意義があるということになるので、そうやって今後も進めていきたいと思う。</p> <p>それでは、これで本日の議事は終了する。闊達なご協議、ご協力に感謝申し上げます。</p>
事務局	<p>藤本会長、委員の皆さま、貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。本日いただいたご意見を今後の健康のまちづくり基本計画、それから行動計画に反映させていきたい。また、本日言えなかったご意見などもあれば後日、事務局までお知らせいただきたい。</p> <p>協議会の後、策定委員会、それから検討部会でこの計画をさらに揉んでいく。次回協議会は10月頃を目処に開催させていただきたいが、詳細な日付等は後日ご案内させていただく予定である。</p>

#### 4 その他

事務局	その他、ないか。では、事務局から報告申し上げます。
事務局	恵那市民の歯と口腔の健康づくり推進条例について資料4に基づき説明
事務局	<p>この条例は平成26年に策定したままになっており、今回見直しするものである。内容は直接歯科医師会と行い、現在パブリックコメントを受け付けているのでご意見等いただければと思う。</p> <p>それでは新年度第1回の協議会の開催を感謝申し上げ、医療福祉部長鷹見よりお礼のあいさつを申し上げます。</p>
事務局(鷹見)	<p>健康づくり推進協議会、健康基本計画そして行動計画をこれからつくっていくが、計画期間が12年間という長いスパンである。12年後には職員もどうなっているのか、今この時期に携わることによって事務局もとても責任を感じている。基本計画の中にできる限り皆さまからのご意見や検討に対する熱い思いを書き、文言やデータについても皆さまからの意見を反映させていきたい。</p> <p>恵那市議会の6月議会が始まっており、定例会では議員から様々な質問を受ける一般質問の場が2日間ある。今回18名の議員中、3名から恵那市民の健康について問う質問が来ており、私が答弁をさせていただく。やはり健康分野はとても広く、どこをポイントに絞って議員それぞれにご説明する、説得をする、抑えていくかを少し最終的に悩んでいる。高木先生のヒントや、山本副会長の原因に対しての考え方、えなえーるで19日にやっている取り組み等を具体的に入れて、わかりやすくご説明すると良いかなどと思いながら本日皆さまのお話を聞いていた。</p> <p>また秋頃に開催するが、本日6月12日に自分の言ったことがどうなったんだとご指摘いただきたい。6年で見直しはするが、それにしても12年という長い計画の中の基本計画であるので、また次回開催する折にも皆さまからご意見賜りたいと思っている。本日は長時間に渡り、感謝申し上げます。</p>
事務局	最後に山本副会長より、閉会のあいさつをお願いします。

#### 閉会

山本副会長	これをもって、令和6年第1回恵那市健康づくり推進協議会を閉会します。
-------	------------------------------------